

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道3号 広川八女バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	福岡県八女郡広川町新代～福岡県八女市立花町下辺春			延長	11.4km
事業概要					
一般国道3号は、福岡県北九州市を起点とし、鹿児島県鹿児島市に至る延長約515kmの主要な幹線道路であり、九州を南北に縦貫する重要な路線である。このうち、広川八女バイパスは、主要地方道三潴上陽線と国道442号との立体交差を含む延長11.4kmの2車線道路である。					
事業の目的、必要性					
当該区間の整備により、国道3号現道の通過交通を転換させ、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行障害を緩和することで、適切な機能分担による交通環境の改善と渋滞緩和による安全性の向上を図るとともに、現道の浸水想定区域を回避することで、信頼性の高い道路ネットワークの構築を図るものである。					
全体事業費	約340億円		計画交通量	約5,500～9,000台/日	
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	1.3	総費用	272億円	総便益	342億円	基準年	令和4年
			（事業費：238億円 維持管理費：34億円）		（走行時間短縮便益：316億円 走行経費減少便益：20億円 交通事故減少便益：6.0億円）			
	感度分析の結果		交通量変動	B/C=1.1（交通量 -10%）	B/C=1.5（交通量 +10%）			
		事業費変動	B/C=1.2（事業費変動 +10%）	B/C=1.4（事業費変動 -10%）				
		事業期間変動	B/C=1.1（事業期間変動 +20%）	B/C=1.4（事業期間変動 -20%）				
事業の影響	評価項目		評価	根拠				
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 交通転換により、国道3号現道の交通が分散し、渋滞が緩和。〔混雑度（吉田交差点付近）〕 【現況】1.53→【整備後】1.18（約2割減少） 交通分散により、国道3号現道の大型車混入率が減少。〔国道3号現道の大型車混入率（馬場交差点付近）〕 【現況】31.5%→【整備後】9.3% 				
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞緩和により、追突事故が削減。〔国道3号現道の交通事故件数〕 【現況】77件/年→【整備後】45件/年（約4割減少） 				
		歩行空間	-	・注目すべき影響はない				
	社会全体への影響	住民生活	-	・注目すべき影響はない				
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 広域道路ネットワーク整備により、所要時間の短縮が図られ、物流交通や沿線企業活動に寄与。〔広川中核工業団地～道の駅たちばなへの所要時間〕 【現況】28分→【整備後】11分（17分短縮） 				
		災害	◎	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、高速道路通行止めによる国道3号現道への交通集中が発生した場合の代替路を確保。 道路の高さを確保することで、国道3号現道の冠水時に別線での通行が可能。〔浸水想定区域の通過延長〕 【現況】3km（国道3号現道）→【整備後】0km（広川八女バイパス※バイパス部は浸水想定区域を通過するが道路の高さを想定浸水深以上とする。） 				
		環境	-	・注目すべき影響はない				
		地域社会	-	・注目すべき影響はない				
	事業実施環境		○	<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（令和2年5月）、都市計画決定手続き完了（令和4年10月） 福岡県知事、八女市長、広川町長、一般国道3号（広川～八女）バイパス整備促進協議会より、広川八女バイパスの早期事業化の要望を受けている。 				

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っており、また、計画段階評価及び都市計画決定の手続きを完了しており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により、交通容量及び安全性が確保され、交通環境の改善とともに災害時における信頼性の向上が期待でき、事業の必要性・効果は高いものと判断される。
以上より、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

関係する地方公共団体等の意見

【福岡県知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道3号広川八女バイパス」事業の予算化について同意いたします。
国道3号は、北九州市と鹿児島市を結ぶ交通の大動脈として九州の人流・物流に欠かせない非常に重要な道路であり、福岡県内においては南北方向の従交通を担う大変重要な幹線道路であり、大規模災害時には、迅速な救急対応や、復旧復興を可能にするなど、緊急輸送道路として機能し、沿線地域住民の安全安心を支える上で大変重要な役割を担っております。しかしながら、広川町から八女市の区間においては、慢性的な交通渋滞による物流コストや交通事故リスクの増加、浸水による避難・防災活動や物流への影響等の課題が顕在化しているところですが、
本県としましては、周辺自治体と連携して、事業の円滑な推進に向けた環境整備に取り組むとともに、広川町新産業団地整備計画や奥八女地域の振興に加え、関連する周辺道路の整備推進など、地域経済の発展にも努めてまいります。また、県内の直轄国道整備に伴う諸課題の解決に向けて、国とともに取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援いただきますようお願いいたします。
つきましては、「一般国道3号広川八女バイパス」の令和5年度新規事業としての予算化に特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。
・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（令和2年5月）、都市計画決定手続き完了（令和4年10月）